

議会だより

News Letter From Hachijo Town Assembly

No. **176**
2015.10.25



大分県行政視察
竹田市・空き家を利用した染屋



千葉県行政視察 保田漁業協同組合
プレジャーボート上架用大型クレーン

第3回八丈町議会定例会

平成27年9月2、3日開催

目次

- まだまだ厳しい企業会計 2P
- 一般質問 3P
- 行政視察レポート 12P
- 定例会の質疑から 14P
- 航空運賃特別委員会設置される 15P

第3回八丈町定例会

(平成27年9月2、3日開催)

まだまだ厳しい企業会計

冒頭の一般質問に登壇した議員は10名。質問内容は、観光、防災、福祉、教育、施設管理、自然環境保全、町政運営など、身近なことから町の振興に係る未来性の高い課題まで、時宜を得た内容となりました。

その後、補正予算、条例の制定・改正などの議案審議に続き、企業会計の決算認定が行われました。

平成26年度公営企業会計収支一覧

(単位：千円)

区分		収益的収支	資本的収支	純損益	一般会計からの補助金・負担金
水道事業会計	収入	411,674	247,374	▲34,023	43,081
	支出	445,697	357,658		
一般旅客自動車 運送事業会計	収入	141,207	19,000	▲2,955	92,867
	支出	144,162	32,322		
病院事業会計	収入	1,405,866	224,160	▲19,334	556,143
	支出	1,425,200	280,146		
合計	収入	1,958,747	490,534	▲56,312	692,091
	支出	2,015,059	670,126		

公営企業は、その公共性も加味しなければならぬが、だからと言って慢性的な赤字や滞納の放置、無駄な出費、サービスの低下等を容認するわけにはいきません。町当局の努力を認めつつも、更なる課題解決への努力を指摘する活発な議論が交わされました。

◎水道事業会計

前年比、給水人口は143人、戸数は117戸の減となりました。

島内の人口減少とともに、住民の節水意識の向上、更に、水道管の漏水発生頻度の増加や大賀郷浄水場のランニングコストも増えており、給水収益は今後あまり期待できそうもありません。

◎一般旅客自動車運送事業会計(バス事業)

路線バスの利用は前年並みでしたが、貸し切りバスの利用が大きく減少しました。

その理由は、大型客船の欠航が相次いだためです。今後は産業観光課と連携して観光客を誘致することにより、安定的な稼働を期待したいところです。

また小型バスの導入による収益やバスの利用状況についての質疑もなされ、宣伝活動も課題として挙げられました。

◎病院事業会計

外科医の採用により外科の入院患者は増加しましたが、外来収益は院外薬局制度の導入により41.3%の減少となりました。今後は、この制度変更起因する病院事業会計への影響を丁寧に見守る必要があります。

また、院外薬局導入により患者の利便性が損なわれては本末転倒であり、更なるサービスの向上が望まれます。

病院が繁盛することは良いことではありませんが、島内で良質な医療が受けられるよう、更なる努力を期待する声が議員から出されました。

新しい定期観光バスを

答
不採算性が高いが、収益の上がる事業を進めたい



山下 巧 議員

◆所要時間 12分

図2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックには日本国内はもとより諸外国から多くの人々が観光を兼ねて東京に来る。すでに先行予約で都内の受け入れ宿泊施設は満杯状態になっており近郊での対応が急がれる。八丈島は羽田からジェットで45分圏内にあり、東京から一歩先へ足を延ばそうとする客層を取り込む絶好のチャンス。

代から個人、小グループ、高齢化する旅行形態に対応が遅れ廃止した経緯がある。これから全く新しいメニューで当面は観光シーズンと土日祝日でスタートし、外国人対応の英語によるガイドアウンス、季節の話題でコースを設定し食事処めぐりなどわくわくするような観光バスの運行をするべきだと考える。

図今までと同じ運行をすれば同じ赤字が出る。営業努力が足りなかったのでは。法的規制をクリアした新たなバスの運行で観光活性のスタートを。島にはスポットでよい所が多いが移動手段に不備がある。季節に合わせたルート。例えば工場めぐり、焼酎、くさや、あしたば、花畑などのコースなどを含めぜひ実行するべきだ。

図八丈島の魅力を盛り込んだ新たなコースを設定し、採算性を前提にした運行を考えたい。

八丈町民の意見を取り入れるべきだ

答
総合戦略策定で出された提案を活用したい

高く評価する。有効な意見にはどのようなものがあったか伺う。

図企画財政課長 総合戦略のワーキンググループは26名の公募委員で50件の提案を検討、絞り込みを行なった。産業関係は、農業担

手育成事業学校と連携、漁業担い手確保事業、農産物の地域ブランド化、歴史文化資産の観光地作り、空路チャーター便の誘致。定住移住関係は、情報発信サイトの充実、地域おこし協力隊の導入など原案を審議し活用したい。



廃止前の定期観光バス

八丈町のいじめへの対応は

答

いじめアンケートを実施している



山本 忠志 議員

◆所要時間 19分

先日、岩手県の中学生がいじめを苦に自ら命を絶つという痛ましい事件が発生した。

担任教師に辛さを訴え自殺の可能性も示唆していたという状況下での事故に対し、情けなく感じると同時に、本町の教育現場は大丈夫なのか不安を感じている。

八丈町立学校で実施しているいじめの調査の状況は。

若い世代の主権者意識の育成を

答

「八丈町基本計画」等の説明の場で、若者の意見を聞く

教育課長 全ての八丈町立小中学校の児童生徒を対象に、毎年6月と11月に、いじめアンケートを実施している。

6月に若干のいじめの案件があったが、既に指導済みで解決している。

八丈町の総合教育会議の中でのように取組んでいくのか。

平成26年3月に「八丈町いじめ防止基本方針」を定め、いじめに対しては一人の教員が抱え込むのではなく、対策チームを組織し、全体の問題として解決を図っている。

万が一、重大ないじめが発生した時は、総合教育会議を開催し、町長と教育委員会が一体となって対応する。

公職選挙法が改正され来夏の参議院選挙から18歳以上の人が投票できるようになった。今後は、より一層若い世代の声に耳を傾け、若者の意欲や関心を高めるとともに、未来を見据えた政策創りが求められる。

八丈町の新有権者数は何名になるか。また、新有権者に対する啓発・周知にどのように取り組むのか。

総務課長 年齢から推定して、約50名増えるが、全体の有権者数は40名程度減少すると予想している。

主権者意識育成のために都立八丈高校、都選挙管理委員会、八丈町で協議して具体化していく。中学生に對しても「子ども議会」を定例化し、普及・啓発を図っていく。

八丈町の新有権者を対象として、仮称「若者議会」とか、女性限定の「めならべ議会」を設定してみてはどうか。

現在作成中の「八丈町基本計画」等の説明会の場を設定し、若者の意見を聞く場としていく。
また本議会傍聴の促進を考えていく。



八丈町の振興・発展のために調査と科学的分析を

答

地方経済分析システムのデータを利用する

いた科学的分析が必要ではないか。町の考えは。

企画財政課長 国は、地方版総合戦略を策定するにあたって地方自治体を支援するために、地方経済分析システム（リーサス）のデータの配信をしている。八丈町にも届いているが活用するまでには至っていない。このデータ活用のためのワークショップが開催されるので利用していく。また、町では、高齢者の意識調査など、部分的調査は実施し役立てている。

町の振興・発展のためには、町民や来島者のニーズ、経済効果等について詳細な調査を実施し、それに基づ

榎立中之郷線道路の今後の計画について

答 現在のところ延ばす計画はない



小川 一 議員

◆所要時間 4分

圃工事が順調に進み、残りの三分の一が完了した後、どのようにするのか、これで終りにするのか、例えば、末吉地域まで伸ばすのか、町の考えとして、町長の見解を伺う。

榎立中之郷線道路も平成19年に工事を着工して、今年で9年目を迎えており、現在、全行程の約三分の二が終了し、残り、約三分の一となっている。

途中、一部の箇所では土地交渉が難航しているところがあると聞いているが、引き続き、地道な交渉を続けていたいただきたいと思う。この道路は、開通させることによって近隣の畑を有意義に、しかも、効率的に利用できる利用者からも多くの声を聴いている。

圃 建設課長 現在のところ延ばす計画はない。その理由は三つ。

- 一、今後末吉地区の都道が、歩道設置にあわせて拡幅整備されること。
- 二、当該道路を中之郷から末吉まで延伸すると、地形的に都道とほぼ平行線になること。
- 三、中之郷から末吉まで延伸すると、榎立中之郷線ではなく、新たな道路となり、新規事業の扱いになるが観光施設や、農地等も少なく費用対効果が望めない。今後30年の間に70%から

80%の確率で来るといわれている、南海トラフ巨大地震等の災害時に備え、坂下と坂上を結ぶ中道伊郷名線（通称、防衛道路）の早期完成に向けて、予算措置を

森林における病害虫の防除体制について

答 関係機関で連携して対応している



山下 崇 議員

◆所要時間 10分

圃 産業観光課長 平成26年度と27年度は、調査機関が独自に、誘因トラップと調査木の穿孔調査を行っていることを認識している。

圃 町で行った穿入防止策はどのような物で、いつまで実施し、効果は確認されたか。

圃 地理的条件もあり、町として防除は行っていない。圃 防除に効果があるとされる薬剤があるが、農薬指定はされたか。

圃 平成26年7月23日に登録されている。

していく。

圃 カシノナガキクイムシの現在の発生数と、スダジイの枯死との因果関係についてどのように考え、今後の防除体制を考えているか。

圃 行政機関と研究機関で連携して対応していく。

圃 島の大切な資源であるスダジイを守るため、町も積極的に関与し、独自調査を継続する森林総研に対し、予算措置等出来ないか。

圃 支援は、調査地点の地主との交渉等である。次回トラップを回収しに研究員が来島した際は何が出来るか、何が必要か相談の上対応していきたい。

町の職員の人財育成と住民のまちづくりへの参画を

答 八丈町版人事評価制度で職員のやる気を引き出す



岩崎 由美 議員

◆所要時間 27分

人財育成については、研修を強化していくとのことであった。また八丈町総合戦略を策定するにあたり、町はワーキンググループ（WG）メンバーを公募し、住民参加による策定作業を行ったことは全国的にも珍しい評価される。

問 総務課長 研修制度導入後、入庁3年以下島外出身者の職員が、活躍する場面が多いのは成果のひとつか。

ちづくりに参加出来るしくみが必要と思うが。

答 企画財政課長 住民のまちづくりへの参加については様々な形態があると考える。町の基本構想では「住民が主役のまちづくり」を指標に掲げている。今後も情報公開をし、住民と行政が共同したまちづくりを推し進めて参りたい。

問 やる気のある職員を評価していくしくみは。

つ。それ以前に採用した職員については、別プログラムの研修を昨年度実施。中堅職員としての資質を学ぶ機会となり、立場理解促進や同期の連帯感に繋がった。研修プログラムの一部については全職員が受講することを検討してみても、という意見も。

問 総合戦略策定のWGでも聞かれたが、研修では外に出て、町民の意見を積極的に聞く機会はあるか。

答 企画財政課長 町外に出て一般の町民等にヒアリングし、課題分析をすることも想定している。

問 WGの中には、今後とも町のために取り組んで行きたいとの意見があった。意識の高い町民が引き続きま

医療用大麻およびその関連産業の導入を

答 適切な情報を収集し、関係機関と協議を得た上で考えて行きたい

ていくことを検討しては。また新たな産業と雇用の創出のため、いち早く栽培を視野に入れた取り組みを行うべきと考えるがいかがか。

戦前は全国的に栽培されていた大麻草は、戦後「大麻取締法」によって栽培、利用が厳しく制限されてきたが、繊維、燃料、土壌改良、食品など全草余すところなく利用可能なばかりでなく、その薬効成分（カンナビノイド）が医療分野において世界的に注目されている。現在、海外では多くの臨床試験がなされ、効果が報告されるに至っており、先進国G10についても合法化が進む中、日本でも議連や学会が創設されている。

問 十分な精査と周知を重ねた上で、八丈町としてもこの動きに連動し、関係機関と連携しながら国内に先駆けた国家戦略特区を創設の上、臨床試験の体制を整え

答 企画財政課長 町を活性化させるためには、起爆剤となるような施策を展開することが必要であるという趣旨のもとに具体策として受け止めた。カンナビノイドについては、町として情報収集ができていない。しかしながら、超党派の議連や専門の学会が創設されるなど、新たな分野として大きく展開していくのではないかと推測する。国家戦略特区、産業振興については、今の段階では個別の回答は致しかねる。やはり適切な情報を収集し、知識を蓄積した上で専門家や関係機関と十分な審査を行い、かつ議会や住民の理解を踏まえた上で判断をしていきたいと考えている。

● その他、町の公園管理に関する質問もしました。

地域おこし協力隊を利用した町の活性化を

答 導入する方向で考えている



奥山 幸子 議員

◆所要時間 25分

この7月、大分県竹田市を視察し、過疎化を食い止める若い世代を呼びのための様々な取り組みの実態を見てきた。人口規模は異なるものの、参考になる施策がいくつかあったが、その中で「地域おこし協力隊」の活躍がめざましかったので、ぜひ町に取り入れてほしいと思い提案する。町は総合戦略の策定に向け動き出し、住民と町が協力して具体策もいくつか出されている。地域おこし協力隊はこうした事業の実現に貢献するものと考えている。

問 地域おこし協力隊を導入する考えはないか。

答 企画財政課長 導入する方向で考えている。総務省の研修会にも参加した。今後人数や役割など検討したい。ただ、スーパーマンではないので過剰な期待は禁物と考える。

問 ぜひ計画をすすめてほしい。特別交付税が措置されるとしても、導入するにはあらかじめ一般財源を確保しておかなければ協力隊は活動できない。来年度に向けての予算措置を。また、受け入れの準備を今年度中に行う決意を。

答 来年度導入に向け予算化し、具体策に向け準備を進める。



竹田市政視察

介護保険利用料の自己負担引き上げによる影響はないか

答 2割負担になるのは5%

2000年に始まった介護保険制度も、高齢化による利用者の増加により財政負担が重くなっている。制度を維持するために、一定の所得や資産がある高齢者に対し応分の負担をしても

らうとの考えで、この8月から自己負担額が引き上げられる。しかし、急速な負担増は、利用者を圧迫し介護保険を利用しにくくする状況も生まれかねない。町の現状を問う。

問 一定の所得がある場合、利用料が2割負担になる割合はどれくらいか。

答 福祉健康課課長補佐 8月現在、約620人が介護認定を受け、うち約500人が利用しているが、個人負担が2割になる方は30人、そのうち利用しているのは24人で利用者の5%となっている。今後も毎月の実績から把握していく。

問 一定の所得の基準は、適正に調べられているか。

答 制度改正に対応するシステム改修を行い、税の情報から適正に処理する。

問 介護保険料も利用者の自己負担も上がる状況で、ていねいな説明を。

答 介護保険料改定では多くの問い合わせがあった。料金の説明だけでなく制度の理解も得られるよう、広報や老人クラブの会合などで周知していく。

問 今回の引き上げによって、現在の利用者が利用を控えることのないように対策を考えてほしい。元気で活動されている老人クラブや婦人会の方々への周知も大切だが、まずは利用者へのていねいな説明が必要と思う。

答 これから始まる地域支援事業および介護サービスの現状や制度について、利用者はもちろんすべての高齢者にわかりやすく説明していく。

土砂災害に備える対策を

答
住民各自の防災意識を高めるこ
とが大切と考える



水野 佳子 議員

◆所要時間 11分

地震や台風、また大雨な
どの自然災害による大きな
被害が連日のように報道さ
れている。10月5日には、
防災訓練が予定されている
が、防災、減災に備える町
の対策について伺う。
八丈町でも7月の大雨に
より、島内17ヶ所で土砂崩
れの被害が出たことが、先
の議会でも報告された。そ
の何ヶ所かの被害状況を見
た時に、家屋や人的被害が
出なかったことは、幸いだ
った。しかし、局地的な大
雨の恐ろしさは、一昨年の
大島、昨年の広島でも尊い

生命が失われ、多くの犠牲
者を出している。

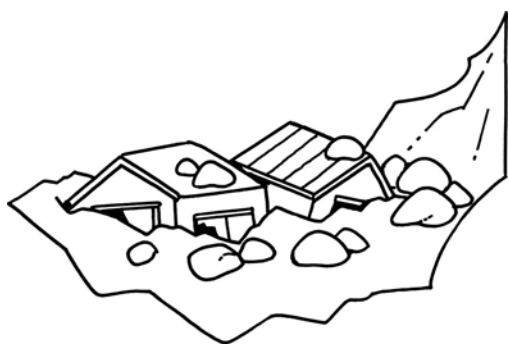
近年、全国各地で起きて
いる自然災害は我が八丈町
においても、いつでも起こ
り得ること。住民も含め、
私達、町も日頃より万全の
対策を備えることが大切と
考える。どんなに立派なマ
ニユアルがあつたとして
も、いざという時に住民の
生命が守られなければ、全
く意味はない。

防災、減災については、
議会でも何度も取り上げら
れている。今回のような土
砂崩れの危険箇所は、地域
ごとに異なると思うが、そ
の地域の住民には、日頃よ
り充分知らせているか。町
全体の訓練も必要だが、昨
年、大里地区で行つたよう
に、自治会ごとの訓練を細
かく確実に実施することも
必要だと考える。

圓被害を最小限に留めるた
めにも、7月の大雨の教訓
を町はどのように活かして
いくか。

答 総務課長 八丈町は至る
所に、土砂災害の危険が潜
んでいる。議会や広報等で
も何度も話してきたが、公
助の初期対応ももちろん大
事であるが、自分の身は自
分で守るといふ住民各自の
防災意識を高めることが大
切と考える。

現在、八丈町には土砂災
害警戒区域の指定はない
が、東京都としても一昨年



の大島の大きな災害を受
け、28年度、29年度に基礎
調査を行ない、ハザードマ
ップを作成する予定。
広報はちじょう10月号配
布の際に、防災の便利帳を
全戸に配布する予定なの
で、ぜひ活用してほしい。

温泉設備の整備を

答
定期的な点検を行い
対応する

この夏も多くの観光客が

来島し、島内4ヶ所の温泉
施設も沢山の人で賑つてい
た。しかし、ふれあいの湯
やすらぎの湯、ザ・ブーン、
みはらしの湯等々それぞれの
施設も建設から20年以上
を過ぎ、施設の老朽化が目
立つ。ザ・ブーンにおいて
は、先口、私も利用したが、
女性の洗い場の一部、洗面
台の鏡がひび割れをし、浴
室内のタイル等が一部、長
い間剥がれたままになって
いる。また、ロッカーの鍵
も何ヶ所も壊れたまま。利
用客から苦情が出ている。

圓多くの観光客を受け入れ
る施設としてはいかがなも
のか。町は定期的な整備・
点検をしているのか伺う。

答 福祉健康課長 各施設と
も建設から20年が過ぎ、老
朽化していることは事実。
昨年从今年にかけて15件
以上の改修を行なつてい
る。ザ・ブーンの鏡につい
ては、交換の手配中。他の
施設についても、今後とも
管理、運営をする町と、現
場サイドの情報共有し、
定期的な点検をしていく。

マイナンバー制度の対策は

答

必要最小限のみで利用。利用目的達成の範囲を超えての利用がないよう徹底する



沖山 恵子 議員

◆所要時間 20分

すべての国民に番号を付与管理するマイナンバー制度が10月から始まり、番号の送付が開始される。島民の中には「八丈町のセキュリティ対策は大丈夫だろうか？一生変わらないという私のマイナンバーは、情報漏えいし悪用されないだろうか？」と心配する方も。そこで八丈町のセキュリティ対策と、職員に対する研修が進んでいるのか。

問 八丈町はマイナンバーに
対して

① 行政としてマイナンバー

を発行し管理する。
② マイナンバーが記入された住民の申請書類を事務処
理に利用する。
③ 社員を雇っている一般企業と同じく、職員やアルバイトのマイナンバーを管理する。
④ 議員や会議の出席者に賃金や会議の手当を支払うためにマイナンバーを管理する。
の4つの側面を持つている。担当部署も、企画財政課だけではなく、住民課や福祉健康課、税務課が日々業務で扱い、会議の出席者のマイナンバー管理では、おそらくすべての課が関わってくるかと推測する。生まれてから死ぬまで約80年一生変わらないマイナンバーは厳格な対策とルールの下に正しい管理を行わないと情報の漏えいは免れない。

町ではそれぞれの側面に対してどのような対策をしているのか具体的に。

問 企画財政課長 マイナンバーは、法律で制度とシステムの両面から情報の収集保管方法、不必要なファイルの作成禁止や厳しい罰則規定、通信の暗号化など

様々な安全策が講じられている。今のところマイナンバーが必要になる手続きは年金・労働・福祉・医療・税・災害対策の分野に限定

されている。マイナンバーが記載された申請書は業務遂行に必要な最小限の担当者のみが取り扱い、鍵付きのロッカーに保管するなど情報管理、また議員、各種会議委員及び職員等の報酬を支払うためのマイナンバーも必要な事務のみで利用し、利用目的の範囲を超えて利用することの無いよう徹底していく。

問 日本年金機構では、国の基準に則り業務を行っていたが、職員のミスが原因でインターネットを通じて10

0万件以上の情報が漏れた。パソコン同士が繋がっていると、対策を講じていても、一人の職員のミスからすべての情報が漏れる可能性がある。年金機構は、インターネットのパソコンと業務用のパソコンを分けると発表した。

問 町は申請書類を受け付けるパソコンとインターネットのパソコンを共用していないか。

問 企画財政課長 町では八丈町電子情報セキュリティ対策基準を定め、パソコンの情報漏えい対策を行っており、町職員として採用した時に研修を行う他、適宜全職員に対して注意喚起を行っている。機密情報は専用回線を使い、定期的に異常がないか確認している。

問 全職員に対し情報保護とセキュリティの重要性の研修を行い、ミスを最小限に食い止める事、行政として考えうる限りのセキュリティ対策をする事で、住民か

らの信頼も得られると思うが。

問 今回のマイナンバー運用に合わせ地方公共団体情報システム機構のeラーニングによる情報セキュリティ研修と個人番号制度研修を職員に実施し、適正な取り扱いに努めていく。

問 鍵付きロッカーは税務課、福祉健康課をはじめ各課にあるか。

問 鍵付きロッカーや様式は12月議会までに調べ必ず整備する。

問 税務課長 従来から機密情報を扱っており、鍵付きロッカーで管理し、鍵については課長と主幹で管理している。

問 福祉健康課長 児童手当の関係で申請に使う事が決まっており、鍵付きロッカーは用意している。

八丈プラザ公園の管理と今後の活用は

答
安全対策、施設の充実、遊具の増設を実施する



浅沼 憲春 議員

◆所要時間 12分

八丈プラザ公園は、今年4月に事業費2億6500万円オープンしたが、雑草が生い茂り、遊歩道しか見えない状況にある。子供が遊ぶには危険な場所が多く、浸透池のフェンスは低く、隙間が大きいため幼児等の転落の恐れを感じる。滑り台と遊歩道のり面は急斜面で、幼児が滑り落ちる危険性から、利用者の安全を考え早急な対策を取るべきだ。子供の遊具も敷地のわりには少なく、遊具の増設をするべきだ。

園多額の予算を掛けオープンした公園だが、今後どう管理・活用するのか、安全面の対策はどうするのか。

園建設課長 6月、7月に豪雨や災害が多発し、公園の管理には目が行き届かなかった事はお詫びする。フェンスの件だが、公園を作る前に大雨が降るたび近隣の農地が浸水するため、農林水産省の補助事業で平成18年から平成20年度に農地防災事業で実施した用排水路と浸透池の転落防護柵であり、高さと隙間は調整する。滑り台は高台にあり、滑り落ちる危険性から利用者者の安全を考え、対応を検討する。遊具も、適正な遊具を検討して増設する。キャンプ施設も更に充実させる。適切な草刈の実施と転落防護柵と滑り台の安全面

の対策等を進める。

大雨時の町道・都道の対策について

答
八丈支庁と調整、浸透池の構築

7月の大雨時、町道012号線（宮平富士山線）から富士グラウンド内に大量の土砂が流れ込んだ。濁流は空港滑走路のり面から流れ落ち、空港の浸透柵を避けたものか、浸透柵の容量が不足なのか調査して欲しい。5年前に人工芝等の交換工事で約2億円も掛り、工費を抑えるため早急な対策が必要では。同町道のフェンスが錆びて欠けた部分があり、歩行者が落下する危険性が有るので早急に交換して欲しい。大賀郷中学校前の都道216号線（神湊八重根線）の坂道も、大量の濁流で歩行も容易ではなかったと聞く。将来、都道の拡幅で浸透柵設置と聞くが、今、危険で小中学校の登下校時の通学路

であり、安全面を考え、対策を早急に考えるべき。また、大中下五差路の南原へ抜ける通りの町道0213号線も近くの都道と町道からの濁流で冠水し子供達の通学路としては危険であり対応を考えるべきである。

園大雨時の都道は八丈支庁と早期に連絡を行い対策を講じるべきでは。

園建設課長 八丈支庁土木課長からの回答。

7月の大賀郷中学校付近の道路冠水は、金属製の網蓋が設置されている道路側側溝部分から雨水が溢れ出したものと認識している。網蓋部分には鉄板を溶接し、外から雨水が溢れ出さないよう処置を行った。

神湊八重根線において、現状では降った雨は側溝を通って低い所に集中する事から、大中上交差点から八重根港側の道路側溝への負担がどうしても大きくなる。これを解消するため今年度、大賀郷公民館横に浸透池を構築し、大中上交

差点から上流側の雨水を算定的に取水することで、下流の負担を軽減させていく。

園教育課長 空港のり面と言う事なので、八丈支庁港湾課の所管となり、事実関係について調査をして対応をお願いしているところ。富士グラウンドに面するフェンス約50メートルについては指摘の通り、錆等により腐食しており交換を考えている。



空港滑走路のり面

低廉な航空運賃実現のために

答 危機意識を持って議会と共同する



菊池 睦男 議員

◆所要時間 45分

太田国交大臣が来島した。八丈航空路行政の発展の為に結び付ける契機と捉えて、最大の取り組みを強める必要がある。

低廉な航空運賃と便数確保のために何が必要か。

企画財政課長 一朝一夕に出来るものではなく粘り強く取り組んで参りたい。

国や都に対しては、運行費補助や空港着陸料の軽減、離島航空路線維持対策を継続又、拡充の要望。そして、全離島と一緒に航路

航空路支援法など根本的な方策の法整備を要望している。航空会社に対しては、適宜意見交換の場を設け、便数の確保については、利用者増のために、会社とも連携し、何が出来るか検討したい。

大臣は、離島住民運賃割引補助制度の検討を同行した東京都中西総務局長に「検討を働きかけたい」と言っているがこれの実現は。

国の施策があつて島民の割引が可能ならその施策はやるべきだというのが特別委員会の意見である。航空運賃が800円安くなり町の負担は

これだけです。それを住民の足の確保の為にやりますと、町長選挙公約に入れたらどうか。再考して欲しい。

大臣の視察後、都が値下げの試算をして、町への参考の提示があつたが、往復割引の片道運賃約1万5200円が400円（往復で800円）程度の値下げにしかない。八丈町の負担も大きく、メリットが少ないと判断している。

町長選にどう臨むのか

答 引き続き着実な成果に結びつけていくため努力する

山下町長は次期町長選に立候補を表明しているが、
①過去四年間の総括
②やり残した施策は何か
③立候補に当たつての抱負と重要施策は何か。

町長 道徳町長亡き後、一期目を全力で走つてきた。町民あつての八丈町という言葉の重さを感じている。実績としては、歴史的一大事業の新庁舎、多目的ホールの整備、又、合併処理浄化槽の市町村設置事業の開始、町制施行60周年記念事業等々がある。一方、地熱発電、航空運賃値下げ、スポーツ誘致でのツアー、旧末吉小の利活用は道半ば。2期目に向けては、八丈町歌にもある「未来」への発信に臨みたい。特に給付型奨学金制度を創設し、人材育成を図る。

国や制度の当てはめ、具体化は、如何に知恵を出して創意工夫、企画をするかが町職員の責務と考える。住民福祉の要望に応えられる人材を育て、着実な成果に結びつけていきたい。

●こんな質問もしました

海上自衛隊の底土停泊について
質問 海自最大の艦艇いずも停泊について、事前の連絡や法的根拠は。

答 港湾や漁港は、都の関連施設なので、八丈支庁が窓口である。射撃を伴う訓練のみ、海上保安庁のホームページで公表との事。



八丈島空港にて



大分県 竹田市

「空き家バンク事業」の取組みについて

期間 平成27年6月30日

～7月3日

視察者 浅沼憲春、小川 一

山本忠志、岩崎由美

奥山幸子、奥山博文

山口英治、小澤一美

悪天候のため、大幅に予定変更して九州に到着。疲れ気味の道中で出会った一人の女性の姿の中に、大分県竹田市の取り組みの片鱗を見た思いがしました。

その女性は、JR九州横断特急電車の車掌さん。アナウンスも切符点検も、記念写真サービス、車内販売等、すべての業務を一人で笑顔一杯にこなしており、「ようこそ九州へ」と、心のこもったホスピタリティーで迎えられることとなりました。

今回の視察のテーマである「空き家バンク事業」は、「おもてなし」の気持ちなしには成り立つ筈もなく、その原点はどこにあるのだろうか、翌日の竹田市視察への期待感が高まったのは言うまでもありません。

翌日、竹田市役所へ。会議室では、「農村回帰宣言都市」竹田市の取り組み、と題して企画情報課農村回帰推進室の志賀郁夫室長より約一時間の説明がありました。ビデオやパワーポイントを駆使しての手際の良い説明に、多くの視察を受け入れている様子が伺えました。

説明の中で印象に残ったのは、後藤雅人さん。彼は、竹田を一緒に盛り上げていける人を誘致したり、様々な視点からの広報活動を行ったりしている熱血市役所マン。過去5年間で121世帯、221名の移住者を受け入れた実績を持つ人物。

空き家の募集、紹介、案内をはじめ、修理、設備管理、周囲とのトラブルの有無等、詳しい調査を経た上での説明に、後藤さんの人柄に引っぱられて移住を決断した人も多いためか。

現在は、昼夜を問わず毎月50件以上の問い合わせがあり、竹田のために、との使命感で取り組んでいるとのことでした。また、移住

者の交流や相談を目的とした城下町交流館「集」もオープンし、平成26年には、地域おこし協力隊も18名に。



竹田市 城下町交流館「集」

後の質疑では、空き家バンク利用者には、現在83世帯、奨励金10万円が市から支給されており、定住率は約100%、年代層は30代から60代まで様々、との説明がありました。

本年3月現在、同バンクの利用希望登録者は800名を超え、空き家の登録物件は200軒以上。うち賃貸物件の平均家賃は3万

円、売買物件は価格の幅が広く、地元の不動産業者を紹介するようになっているとのことでした。

午後は、「岡城」や移住者の工房等の現地視察。同行してくれた方は、地域おこし協力隊2年目の若い女性でしたが、いずれ永住希望とのことでした。

空き家は全国で増えていますが、空き家を地域の資源の一つとして町づくりに活かそうという取り組みが広がっています。八丈町においても、空き家の実態調査が進行中であり、八丈版総合戦略や八丈町基本構想の柱の一つとして掲げ、定住促進や雇用拡大、子育て環境の整備に繋げていくためのヒントを授けられた気がしました。

最後に、今後の課題として、農村回帰支援センターの予算は厳しく、人員も5人から3人体制に減少。今後はNPO法人への移行も考えている、とのことでした。また、最終的には「ひと」が決め手であり、先の特急電車の車掌さんにして、後藤さんにして、その地域の人の熱意と誠意がその地を支えているのだな、ということ再認識。こういう人材を育てる教育の大切さも実感した視察でした。

報告者 山本忠志



千葉県安房郡鋸南町 保田漁業協同組合 漁港の利用促進と観光振興の両面から、 「漁業者とプレジャーボート共存の成功例」の視察

期間 平成27年7月5～8日

視察者 沖山恵子、山下巧

山下崇、菊池睦男

水野佳子、土屋博

南房総に位置する鋸南町は、遠く辺鄙な所で、人口8千人の田舎町という印象だ。しかし、ここに人が40万人来るといふ。なぜか？ 高齢化・後継者不足・資源の減少・魚価の低迷の対策で漁協が主導して始めたプレジャーボートの専用港（マリーナ）と定置網漁業、番屋と呼ぶ食堂と民宿が好調だからだそう。

①《マリーナ》鋸南町のマリーナはボートの母港として船を預かる上架施設と、数日停泊し燃料や氷を補給できるジッターバースの二つの機能がある。預かり料は大ききで年30万～300万円位、ジッターバースは1日1000円それぞれ料金を頂いている。預かる場合は、資産や人の審査をして合格することが条件で、料金不払いやトラブルは今のところ無く、キャ

ンセル待ちまであるそう。最初に数億円の設備投資をしたが、現在は返済を終え増益中とのこと。

②《定置網》太平洋に面した良い漁場で、漁協所有の船で漁協が漁をしている。働く人は漁師というよりサラリーマン。

③《番屋》漁師の番屋をイメージした簡素な造りの100人以上入れる食堂。定置網や地元漁師の捕ってくる、出荷するには数が少なく、安い魚を利用した食堂が、新鮮で安く旨いと大評判。少しずつ規模を拡大し、今は第3番屋まであり宿泊も始めたそう。季節やお客の人数により開ける番屋を調節。視察時は平日でお客は少なめで一つだけ開いていた。規模拡大に伴い漁協から切り離し、株式会社にしたそう。

一般的にレジャーと漁業は共存しにくい。八丈島も昔からマリーナの構想はあったが実現しなかった。潜って貝を捕り浮上する場所をボートが走りまわったら危険であり、魚は逃げる。そもそも海は

漁業者にとっては生活の場で、遊ぶ場ではない。

しかし、時代も海も変わり漁業の方法も変わった。漁業が低迷している今、漁協の協力を得て新しい収入源として再びマリーナを考えても良いと思う。島の漁港すべてを維持するためにも、多目的な活用方法を考えたい。実験的にジッターバースで数日停泊から初めてはどうだろうか。

また、島の魚は高級魚で、築地に出荷されるため、安くてうまい魚を八丈島で食べるのは難しい。漁協女性部が接待イベントを行うと、一般の飲食店の客が減ると苦情が出る。鋸南町の番屋はどうかと聞いたら、「苦情はあるが、お客が多く入りきれない方が地元の店に行くから問題ない」とおっしゃった。恐ろしいほどの集客力だ。島でも魚を安く食べられるお店が出来、2万人から40万人にお客が増えた鋸南町のような名物に出来ないものだろうか？

ごみ焼却場の熱を利用した東京都運営の夢の島熱帯植物館も視察しましたが、今回紙面の関係上掲載できないのが残念です。



夢の島熱帯植物館

初めての行政視察は、初めて見るものが多く大変勉強になった。島は魅力の宝庫なのにうまく活用出来ていないと改めて思う。普通でありすぎて説明文を付ければ立派な観光資源となる事に気がつかず、改めて紹介もしない。立地や資金力、地域力など難しい事も多いが、島の産業発展と集客のためには何が出来るかを考えていきたい。

報告者 沖山恵子

第三回定例会の質疑から

職員接客態度を改善すべきだ

奥山博文議員



役場は雰囲気が悪いという町民が多い。窓口に行くところでは「ここではありません、向こうの係に行ってください」と言われることがあり、特に高齢者等は困っている。総務課を一番奥に設置していることが事務手続を難しくしている。総務課を入り口から一番近いところに設置して、経験を持った職員を配置し、「いらっしやいませ」で迎えるような受付業務を行うことが必要である。マインバー制度が始まるにあたり改善を図る考えはないか。

水野佳子議員 「いらっしやいませ」「どのようなご用件でしょうか」など声かけをする事が大切である。まずは、手本となる管理職

から声かけ、あいさつを積極的にするべきだ。

総務課長 新庁舎に移転するとき窓口のワンストップを検討したが、新庁舎1階に住民の利用率が高い課を持つてきたので見送った経緯がある。マインバー制度改革に伴って、窓口でどのように丁寧な説明をしていくかという観点で考えた。新庁舎移転後の平成25年度は全職員が、以降、新人職員は4月の研修時に2、3年目の職員と組み受付に立ち案内を行っている。しかし、配属と同時に気持ち薄れている現状があるので、再度声かけを徹底したい。

島内全ての公衆トイレの洋式化を早急に

山口英治議員



6月議会において、全ての公衆トイレの洋式化を9月補正に反映

するようにお願いし、その様に検討するとの回答を得たが、40万円しか計上されていない理由は。

住民課長 早期にトイレを改修するという意味ととらえ、検討すると回答した。

検討の結果、中之郷2基分と八重根漁協は合併浄化槽を含めた工事設計委託を計上した。廃止予定の施設を除いて、八重根漁協他3施設の改修で全ての洋式化が完了するが、改修と同時に合併浄化槽の設置を考慮しており、来年度中には解決したい。

山口英治議員 町長の政治決断でこのようになったのか。町長もそのように考えているのか。

町長 現在不便をしているので、合併浄化槽設置を考え今年度中に実施する。

テニスコートフェンス改修工事減額の内容は

山口英治議員 減額内容と金額は。

奥山博文議員 過去の議会

であまりにも高すぎると指摘した経過を受けての結果である。物凄い無駄な支出をすることであった。財政的に厳しい時なので、削れるものは削って安くして良いものを造るように各課で努力するべきである。

教育課長 当初、フェンスと基礎全ての改修工事で4500万円計上したが、基礎を残し支柱部分を改修することで対処ができることになったので約1500万円減額した。併せて設計費用も減額となった。

●その他

◎島外医療機関交通費補助金を付き添い者にも拡充できないか

◎庁舎建物管理委託料減額の功績を評価するが内容は

◎洞輪沢温泉工事の今後の見込みは

◎物流センター修繕を早急に

◎宇喜多秀家の墓付近の町有地を整備しているが、駐車場として利用するの

◎三根公民館建て替えの財源は
なども質問しました。

発議

農業委員会委員の選任による委員の推薦について
議会推薦者3名を決定

東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙における候補者の推薦について

八丈町議会会議規則の一部を改正する規則
八丈町議会傍聴規則の一部を改正する規則
地方税財源の拡充に関する意見書
4件については

提出者…奥山博文
賛成者…議員全員

原案可決

航空運賃特別委員会設置される

6月の第二回定例会で『航空運賃特別委員会設置に関する決議』が採択され、特別委員会が設置されました。決議の中で航空事業者は、赤字の場合、「路線の廃止や値上げを、一方的な届出制で行うことが出来る。この事は、八丈住民や観光客等は、常に運賃値上げに怯えて生活しなければならず、抜本的な対策は急務」であり、また、「この問題を解決するために広く町民にも訴え、『オール八丈』体制での共同した取り組みをする必要がある」としています。

5. 搭乗客増加の提言
6. 八丈町への提言
となつていきます。

現在、委員による協議会を毎月開き審査しており、来年3月を目途に報告をします。

この問題の真の解決は、航空路を利用する住民、各種団体、業界の皆さんを巻き込んだ島ぐるみの取り組みが必要であり、その為の意見交換、組織づくりの提案も重要な課題です。

委員の構成

委員長	菊池 崇男
副委員長	山下 睦
委員	浅沼 憲春
	岩崎 由美
	水野 佳子

1. 航空行政・航空業界の専門家を招いて、広く町民を対象とした講演会の開催
2. 国や「全離島」の調査等
3. 東京都や離島航空路線地域協議会の調査等
4. 全日空への聞き取り等

航空運賃をともに考えるシンポジウム延期

平成27年10月7日、多目的ホール「おじゃれ」で、2名の講師を招き開催を予定していた「航空運賃をともに考えるシンポジウム」は、飛行機全便欠航のため、12月9日に延期となりました。

航空運賃をともに考えるシンポジウム

2015年
12/9 (水)
19:00~21:00
おじゃれホール
入場無料



多くの島民のみなさまのご来場をお待ち致しております。なお、当日、航空機が欠航した場合は予定が変更になる場合がございます。

「航空運賃をもっと安く！」

「来島者を増やしてもっと元気な島に！」

町議会航空運賃特別委員会は、こうした島民のもっともつとを実現したいと活動しています。八丈島の航空路、そして島民の暮らしを守るために、私たちに何ができるのか。お二人の講師をお招きして、みなさまと共にその答えを見つけ出したいと思います。

八丈町議会航空運賃特別委員会

航空運賃の実態と交通政策基本法

航空運賃が低廉化していく世界情勢の中にあつて、日本はまだコストが高い。ここをどう平準化、低廉化していったらいいのか。世界の情勢、日本全国の現状、そして八丈島の場合は？それを踏まえつつ、国や全日空との交渉についてのヒントをお話ししていただきます。また、平成25年度に成立した「交通政策基本法」を今後地域ごとの施策に活かすためにはどうしたらいいのか、行政の役割についても考えていきたいと思います。

早稲田大学商学研究科ビジネススクール教授

戸崎 肇

1963年、大阪に生まれる。京都大学経済学部卒業。日本航空入社。その後、帝京大学、明治大学等を経て現職。博士(経済学、京都大学)。専門は交通政策、観光政策。主な著書に『航空の規制緩和』『これからの航空ビジネス早わかり』など。



来島者を増やすための情報発信力！

インバウンド(訪日外国人)への対応を含め、観光を盛り上げ交流人口を増やしていくためには、地域の魅力を発掘、発信していかなければなりません。「宣伝下手」と言われる八丈島ですが、そこを打開していくためにはどうしたらいいのでしょうか？マスコミを利用した情報発信、地域の魅力づくりについて、沖縄やその他の地域の事例についてご紹介いたします。

NPO法人アジアクラブ理事長

緒方 修

1946年生まれ。中央大学経済学部卒業。文化放送入社。沖縄大学教授などを経て、現在、同大客員教授、石垣ケーブルテレビ顧問、東アジア共同研究センター 琉球・沖縄センター長などを兼任。著書は『燦々オキナワ』『沖縄野菜健康法』など。



町ナビ

2003年度から東京都と協定を結び都道協の緑地帯の修景美化活動を続けている末吉自治会にこの9月、「15年度道路功労者建設局長賞」が贈られた。

緑地帯は旧末吉小学校前から末吉郵便局へかけての都道沿いの3区画で、面積は合計91平方メートル。自治会では、7月と12月の年2回、会員が協力して、土づくりから草花の植栽、除草などを続けている。色とりどりの草花が咲き誇った華やかで潤いのある道路空間は、地元の住民をはじめ、車で通行する島民や観光客をなごませている。



主な議決事項

8月臨時会 平成27年8月7日開催

- 平成27年度八丈町一般会計補正予算
- 樫立中之郷線道路改良工事請負契約
- ほか契約1件

9月定例会 平成27年9月2、3日開催

- 専決処分事項の報告について（未納の町営住宅使用料の支払督促による訴訟及び和解について）
 - 平成27年度八丈町一般会計補正予算
 - ほか補正予算6件
 - 八丈町町税条例の一部を改正する条例
 - ほか条例改正・制定2件
 - 平成26年度八丈町水道事業会計決算認定について
 - ほか決算認定2件
 - 議員の派遣承認について（平成27年度町村議会広報研修会）
 - ほか議員派遣2件
- 9月臨時会 平成27年9月28日開催
- 八丈町副町長の選任の同意について
 - ほか同意2件
- 全員協議会 平成27年9月28日開催
- 八丈島一般廃棄物管理型最終処分場運営協議会八丈町議会代表委員の指名について

編集後記

山下町政1期目の最後の定例会となりました。次期も挑戦するということで課題や、やり残したことについて質疑が交わされました。この4年間、日本を大きな災禍が襲い混乱を極めたものの、町執行部と議会は大きな対立も無

く困難を乗り越えてきました。町長はやり残したことを、道半ばと表現し攻めの町政を実現させるとしました。未来への躍進を期待したいと思います。

山下 崇

発行人 八丈町議会議長 土屋 博

編集 議会だより編集委員会 委員長 奥山幸子 委員 山本忠志 山下 崇 岩崎由美

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2 tel 04996-2-2788 fax 04996-2-5575